

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		移動図書館・拠点配本実施事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	西川 正則
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	坂本 好幸
	基本事業	68	学習やスポーツへの参加機会の提供			所属班	図書館班	(内線)	2512
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	図書館法第3条(図書館奉仕) 合志市立図書館条例第5条	成果優先度評価結果	5
	1	10	5	8				コスト削減優先度評価結果	9
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H8 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	図書館を利用できない遠隔地利用者や図書館に来ることが困難な利用者(特に園児や小学生、乳幼児の保護者、高齢者等)が図書館サービスを楽しむことができるよう事業を実施する。 ○移動図書館 図書館遠隔地の利用者も図書館サービスが受けられるように、平成9年2月頃より開始した。 ○拠点配本 図書館遠隔地の利用者も図書館サービスが受けられるように、平成12年7月頃より開始した。 移動図書館については、ほとんど利用がない巡回先と利用のある巡回先とに分かれている。合併前は自治体内の遠隔地の大半をカバーしていたが、合併後は巡回していない旧合志町の地域を合わせると自治体内の遠隔地の半分しかカバーしていない形になっている。ただし後者に関しては、拠点配本により、多くをカバーする形になっている。
【業務の流れ】	移動図書館車を運行し、巡回先にて蔵書の貸出・返却を行う。 拠点配本先に定期的に100~200冊の蔵書を配本し、利用者を読んでもらう。
【主な予算費目】	報酬(非常勤職員の手当て)、需用費(燃料費)に支出される。 報酬(非常勤職員の手当て)、需用費(燃料費)に支出される。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	移動図書館に関しては、巡回が非常に助かるという意見が寄せられている。拠点配本についても指定された場所に、常時本を置いているので、利用したいときにいつでも利用できるのも助かるという意見が寄せられている。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
移動図書館車及び拠点配本の利用の増加と効率的な運用のため見直しを実施し、ステーションの追加及び廃止を行う。 また、今まで巡回していなかった旧合志地区の3小学校と2地域への巡回を開始した。	21年度と同様利用状況等により巡回ステーションの見直しを行う。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 巡回・配本拠点	箇所 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
移動図書館等利用者	⇒ ア 移動図書館等利用者 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
図書館遠隔地の利用者にも、図書館サービスを利用してもらう	⇒ ア 移動図書館等貸出件数 件
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 箇所		38	38	38	38	38	38	
⑤ 対象指標	ア 人		3828	4287	4300	5592	4300	4300	
⑥ 成果指標	ア 件		25764	28031	28000	31026	28000	28000	
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円						
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	5	3	3	
	延べ業務時間	時間	300	300	300	115	300	300	
	(B)人件費計	千円	1,191	1,200	1,194	458	1,194	1,194	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,191	1,200	1,194	458	1,194	1,194	0

総トータルコスト	全体計画
~	年度
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0

事務事業名	移動図書館・拠点配本実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

21年度より旧合志町の小学校にも移動図書館車を巡回した。また、利用の少ない区の広報等も行ったため多くの貸出を行うことができた。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 移動図書館車の広報や巡回スケジュールの柔軟な対応により多くの成果が期待できる	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上		○																		
	維持																				
	低下																				

### (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

1か月の巡回スケジュールの中で1ヶ所での滞在時間は限られており、多くの要望に応えられない場合もある。